

適正利用・エコツーリズムワーキンググループの経過報告・今後の予定

1. 知床エコツーリズム戦略の運用状況

過去に提案のあった4件については以下のような取り組み状況である。

① 厳冬期の知床五湖エコツアー事業（提案者：斜里町観光協会）

冬期閉鎖されていた道道知床公園線を除雪し、人数制限、ガイド同伴のうえで冬期の知床五湖をまわるエコツアーを実施した。知床五湖冬期適正利用協議会が実施し、2年目の平成27年度は60日間の実施で目標の1,200人を越える2,127人が参加した。

② 赤岩地区昆布ツアー（提案者：羅臼町観光協会）

半島先端部での文化資源を活用した教育ツアー。コンブ漁の歴史と文化について解説を行う。3年間の非営利のモニターツアーとして、平成26年度から条件付きで検討会議の管理下で試行的に実施しており、平成28年度は試行3年目となっている。そのため、9月の検討会議において、報告を元に内容を精査し、第2回会議において今後の延長・承認について検討する予定である。

③ 外国人旅行者向け情報発信の強化（提案者：知床財団）

ルールを含めた知床の楽しみ方について、外国人に向けた情報発信の強化を目的として、平成27年度第1回会議で部会の設置が承認された。検討期間は例外的に3年間とされ、知床斜里町観光協会・知床羅臼町観光協会と連携することとされた。第1回部会（平成27年10月）で課題抽出を行い、第2回部会（平成28年6月）で情報発信媒体の内容の検討に着手した。

④ 先端部地区利用の心得の点検（提案者：環境省釧路自然環境事務所）

策定より時間が経過している先端部地区利用の心得について、利用者ニーズや利用形態の変化を踏まえ、知床エコツーリズム戦略に定める3つの価値と基本原則に沿って総合的な点検作業を行っている。部会を10月と2月に開催し、課題整理を行った上で、利用の心得を修正することで対応すべき課題を確認した。平成28年度は部会を4回開催の予定である。

2. 個別地域における取り組み状況

○知床五湖における利用調整地区制度の運用

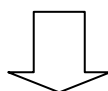
引き続き、ヒグマ活動期及び植生保護期を適切に運用した。

○カムイワッカ地区におけるマイカー規制

平成28年は8月1日～25日及び9月18日～22日の計30日間でマイカー規制を実施する。平成27年から引き続きマイカー規制期間中におけるバス降車場から500mの区間は、バス旋回場工事に伴う徒歩利用となっている。

○ウトロ海域におけるケイマフリをシンボルとした協働

知床ウトロ海域環境保全協議会として、知床海鳥WEEKや自然センターでの企画展等の各種イベントや海鳥のモニタリングを実施。海域観光の充実や収益の環境保全への還元、野



生動物と人との適正な関係の周知等を目的として知床ウトロ海のハンドブックを発行し、平成 27 年度は約 3,700 冊を販売して売り上げが 111 万円となっている。

3. その他の重要な報告事項

○ヘリコプタークルージング

ウトロ市街地より発着し、知床五湖沖合を遊覧するツアー。平成 27 年度第 1 回会議で当該年度の実施報告が行われ、地域住民への騒音や野生動物への影響等が懸念された。第 2 回会議では、戦略に基づき提案され合意が得られない限り、適正利用・エコツーリズム検討会議としては認められないこととされた。

4. 平成 28 年度の主な予定

提案の提出状況等に応じ、適正利用・エコツーリズム検討会議を 9 月 6 日及び平成 29 年 3 月に開催の予定である。